

## 高校ハンド九州選抜県予選

ハンドボールの第35回琉球新報旗争奪九州高校選抜大会県予選最終日は16日、八重瀬町東風平運動公園

勝は地力で勝る興南がコザに32-22で快勝し、2年連続28度目の優勝を果

たした。

女子決勝の那覇西は堅守が機能し、浦添商を22-13で破って4年ぶり11度目の頂点に立った。準優勝の男子コザ、女子

浦添商を含む4校は来年2月に熊本県で行われる九州地区予選に出場し、3月に千葉・埼玉両県で開催される全国大会への出場権を懸けて戦う。

▽男子決勝

# 那覇西V後半一氣

## 女子

### 4年ぶり11度目

どちらに転ぶか分からぬ接戦は、那覇西が守備システムの変更から主導権を握った。横線DFから上地汐香蘭(しあら)が守備位置を上げ、相手エースをシユートの難しいサイドへと他の選手は、マークする相手

の引き継ぎなどチームの約束事を徹底。シユートを打たれても手を伸ばして防ぎ、体を寄せて自由な動きをつぶした。後半17分に失点するまでの間に7得点

して勝利を決定づけた。守備をけん引したGK仲宗根鈴珠は「声を掛け合って失点を防いだ。みんな優勝できとう誓った。

(又吉健次)

「嬉しい」と笑顔。7得点の上地は「持ち味の速攻もできた。九州は強豪も多いので、チームの力を試したい」と喜んだ。

比嘉津監督は「選手たちはいいものは持っている。自ら判断してゲームをつくる力をもつと育てたい」とチーム力アップを誓った。

(又吉健次)

○…女子浦添商は3年生

12人が抜け、控え1人の8

人と薄い選手層の中で準優

勝と結果を残した。

接戦の準決勝を制した勢

いで臨んだ決勝は、中長距

離のシユートがさえて一時

8-4とリードするなど優

位に進めた。

後半は一転、那覇西の高

い守備ラインにゴールを奪

えなくなった。玉城晴美監

督は相手は当たりが強く、

得意な走るハンドをさせて

しまった」と悔やむ。

野夢実美主将は「選手8人で、まさか決勝まで進め

るとは。準優勝は選手一

人一人が役割を果たした

結果」と手応えを口にし

た。

那覇西  
22  
1111  
211  
13  
浦添商

△女子決勝

興南  
32  
1715  
1111  
22  
コ  
ザ

△男子決勝

選手8人で準V

○…女子浦添商は3年生

12人が抜け、控え1人の8

人と薄い選手層の中で準優

勝と結果を残した。

接戦の準決勝を制した勢

いで臨んだ決勝は、中長距

離のシユートがさえて一時

8-4とリードするなど優

位に進めた。

後半は一転、那覇西の高

い守備ラインにゴールを奪

えなくなった。玉城晴美監

督は相手は当たりが強く、

得意な走るハンドをさせて

しまった」と悔やむ。

野夢実美主将は「選手8

人で、まさか決勝まで進め

るとは。準優勝は選手一

人一人が役割を果たした

結果」と手応えを口にし

た。

## 堅守速攻主導権握る

女子那覇西が堅守で頂点に立った。勢いのある浦添商に気おされて11-11で折り返したが、

後半はわずか2失点と守備が機能。その間に次々と速攻を決め22-13と突き放し、沖縄1位で九州大会への切符を手にしました。



## 興南、貫禄の連覇個人技光り波に乗る

男子興南は高い個人技を発揮し、コザを32-22と危なげなく破って連覇を果たした。スロースターターのチームながら3連続得点で先行。後半も速攻で得点を重ねて波に乗った。選手は喜んだものの、「あくまで通過点」と気を引き締めた。

チームの目標は、30得点以上20失点以内。理想的な試合展開に見えたが、後半20分すぎタイムを取つた黒島宣昭監督の怒声が響いた。「何をやつているんだ」。GKの動きを見ずにシユートし、ノーマークでも決められないミスがあったからだ。

コザのGKは思い切って前に飛び出して失点を防ぐタイプで、選手には苦手意識がある。黒島監督は「GKどうも駆け引きしてほしい」と成長を求めた。

その中でGKの動きを見て5得点を挙げ、監督の要望に応えた平田玲は「タ

イミングをずらして得点を決めることができた。九州大会では、試合の流れが悪いくらいにゴールしてチームを元気づける」と誓った。

男子優勝の興南

## 男子

男子決勝 興南-コザ 前半、興南の池間飛勇がシユートを放つ

